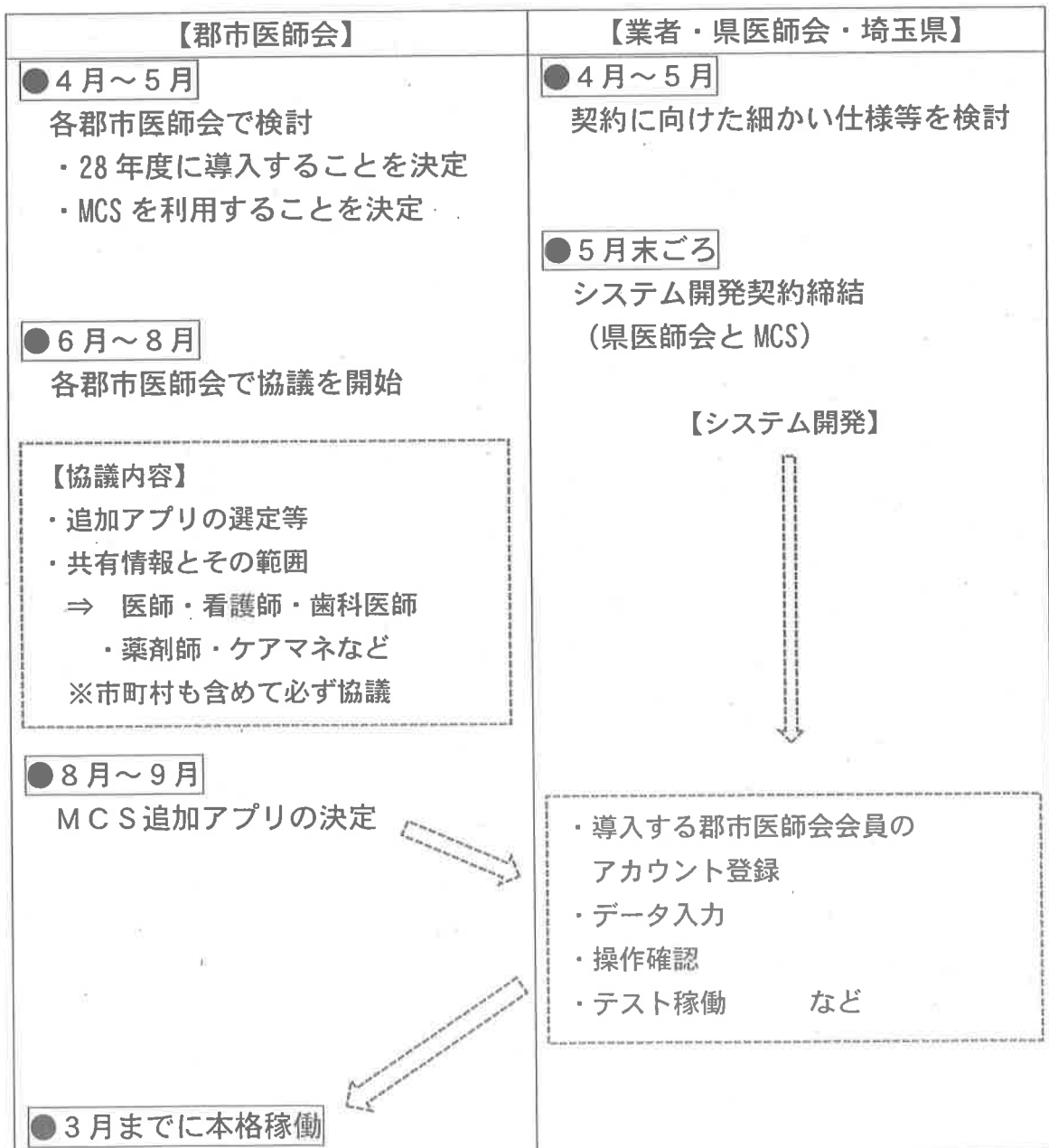


スケジュール【メディカルケアステーションを利用する場合】

● 4月14日

- 各郡市医師会への意向確認（配布のアンケート 締切：5月31日）
 - ・ 28年度にシステム導入するか否か、
 - ・ メディカルケアステーションを利用するか否か、他のメーカーか
- ※ 希望する郡市医師会に対し、日本エンブレースが赴き、運用上の留意点等について説明



スケジュール【他の業者を利用する場合】

● 4月14日

- 各郡市医師会への意向確認（配布のアンケート 締切：5月31日）
 - ・ 28年度にシステム導入するか否か、
 - ・ メディカルケアステーションを利用するか否か、他のメーカーか

【郡市医師会】

● 4月～5月

各郡市医師会で検討

- ・ 28年度に導入することを決定
- ・ 利用する業者を決定

● 6月～8月

各郡市医師会で協議を開始

【協議内容】

- ・ 共有情報とその範囲
 - ⇒ 医師・看護師・歯科医師・薬剤師・ケアマネなど
- ※市町村も含めて必ず協議

● 8月頃目途

郡市医師会と業者で契約を締結

- ・ データ入力
- ・ 操作確認
- ・ テスト稼働 など

● 3月までに本格稼働

業者選定の考え方について

1 基本的な考え方

- (1) 「メディカルケアステーション（以下「MCS」という）」について、県医師会が代表して一定の開発をしたうえで、開発を反映した基本パッケージソフト（埼玉県仕様版）を全ての郡市医師会が無料で利用できるようにする

ア 「MCS」の特徴

- 基本パッケージ無料、ランニングコスト無料
- ラインに似たコミュニケーションツール
- 患者に関わる医師、看護師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャーなど多職種でグループを作り、ラインのような「やりとり」ができる
- 主治医が管理者となり、グループに参加するメンバーを決定
⇒現状では「やりとり」の内容をグループのメンバー全員が見ることが可能
⇒現状では「やりとり」の際に画像やワードファイルなどを添付できるが、添付ファイルを整理して保管するフォルダがない

イ 主な開発内容（埼玉県仕様版）

- ① 内緒話機能の追加
 - ・特にセキュリティレベルの高い連絡の場合は、グループ内の特定のメンバーに限定して「やりとり」できる機能を追加
- ② フォルダの作成・管理機能の追加
 - ・画像、PDF、ワード、エクセルなどを保存できるフォルダを作成できる機能を追加
⇒患者の基本情報など、各地域の任意の様式で共有ができる
 - ・フォルダにアクセスできるメンバーを特定のメンバーに限定（例：医師だけのフォルダ、看護師だけのフォルダなど）
 - ・フォルダへのアクセス履歴を残るようにし、セキュリティを向上
- ③ システム利用実績把握機能の追加
 - ・ユーザー数などを把握可能

- (2) 「メディカルケアステーション」の基本パッケージソフトに加えて、各郡市医師会が任意のパッケージソフトを選択できるようにする

- 希望する郡市医師会は、メディカルケアステーションの「アプリ」の購入や独自の開発も可能とする
- 希望する郡市医師会に任意ソフトを選択してもらうが、参考として3業者を紹介する